

## キミも宇宙兄弟 ～ドキドキ夢体験～

### 1 ねらい

- 天文を学習する小学校4年生から6年生を対象に、体験活動を中心にした天文学習を行う
- 宇宙に夢を求めた人々の生き方を参考にして、「夢を実現させること」について考えを深める
- グループでさまざまな課題を解決する過程において、「仲間との絆」や「人間関係形成力」「コミュニケーション能力」を育てる
- 災害時の生活と同様の体験（非常食、寝袋就寝等）を通して、災害時の適切な判断力と対応力を育成し、地域の防災リーダーとしての資質を育てる

### 2 期日

平成29年 10月21日（土）～22日（日）【1泊2日】

### 3 対象

小学生4年生～6年生

### 4 参加人数／募集人数

19名／36名

### 5 講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家職員 2名、法人ボランティア 7名  
国立宇宙航空研究開発機構（JAXA）職員 1名

### 6 主催 国立立山青少年自然の家

### 7 後援 北日本新聞社

### 8 日程



	午前	午後	夜
10月21日(土) 1日目	受付 開講式 オリエンテーション アイスブレイクゲーム	宇宙の神秘を学ぼう (Mi I) 宇宙船室をつくろう (Mi II) 宇宙食をつくって食べよう (Mi III)	「JAXA」に勤務している方の話を聞こう (Mi IV) 星空を眺めよう (Mi V)
10月22日(日) 2日目	「もしも月面で遭難したら」(グループ討議) (Mi VI) 脱出ゲームに挑戦(グループ体験活動) (Mi VII) 「ペットボトルロケットを遠くに飛ばそう」(Mi VIII)	「2日間の自分たちを振り返ろう」(Mi IX) 「自分のこれからの夢について語ろう」(Mi X) 閉講式	



### 9 参加者からの感想

- 夜の寝る場所（宇宙船）を段ボールで1から作ったのがとても楽しかったです。班で協力してつくることができました。2日目の脱出ゲームはみんなで協力して問題を解いて、無事、エコ館から脱出することができました。全部のミッションが初めての体験で、とても楽しかったです。
- 宇宙に興味はあったけど、知らない人と話をするのは苦手だった。でも、段ボールで寝床をつくったり、JAXAの人の話を聞いて質問したりしているうちに班のみんなと楽しく話せるようになった。2日目は相談したり、問題を解いたり、ロケットをつくったりしたけど、うまくできなかつたり、困ったりした時、みんなが助けてくれてとてもうれしかった。来年も是非やってほしい。

### 10 成果

- 今回の事業は、課題解決型体験活動を中心に据えた。従って、知識・技能の習得よりは、宇宙や宇宙開発について興味・関心をもつことに主眼があり、参加者は、とても意欲的に活動に取り組んでいた。
- コミュニケーション能力の育成にも重点を置いた結果、人と相談して建設的な意見を述べたり、比較的消極的な子供が意欲的に発言したりする場面があった。

### 11 今後の課題

- 参加者にさまざまな種類の体験活動を経験してもらいがために、日程が込み入ってしまった。1つの体験活動に絞るか2泊3日に日程を変更する必要がある。